

科目名	家庭総合	学年	普通				必/選	単位数
			国文	普通	理進	体育		
		3		○		○	必修	2
科目の目標	人の一生と家族・福祉・消費生活・衣食住・家庭生活などに関する知識と技術を総合的に習得させ、生活課題を主体的に解決する実践的な態度や家庭生活の充実向上を図る能力を育てる。自らの生活を見つめ、課題を見出し解決を図る問題解決的な学習で家庭生活の充実を図る。							
授業・学習の進め方	教科書、資料集、資料プリントから生活課題を見つける。 実験・実習を通して実践力などの生活力を身につけたり、課題の解決を図ったりして生活の充実向上を目指す。 自己の家庭生活と関連づけて生活上の課題を見つけ、よりよい解決方法を考えることができる能力を身につける。							
教材	教科書 新家庭総合 パートナーシップでつくる未来 (実教出版)							
成績・評価について	1. 関心・意欲・態度 家庭や地域の生活について関心がある 2. 思考・判断・表現 課題を見だし、その解決を目指し創意工夫する能力がある 3. 技能 生活を充実向上するために基礎的・基本的な技術を身に付けている 4. 知識・理解 家庭や地域の生活向上に必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている 以上の4つのポイントを核に評価を総合し、最終的な成績(5段階評価)を決定する。							
年間の学習内容・学習のねらい・観点								
月	学習内容	学習のねらい	観点					
			1	2	3	4		
4	家族の機能と変容する家族 民法の動き 母性の健康と父性の役割 リプロダクティブライツ	現代家族の特徴について家族形態の変化や人々の意識変化などから理解する。 家族がうまく機能するための支援の仕組みには様々な社会保障制度があることを理解する。 妊娠・出産に関わるすべてにおいて良好な状態にあることと生むか生まないかなど女性が自己決定権を持つべきであるという主張を理解する。 。	○			○		
5	子どもを知る	子どもの育つ力と発達段階を知る。	○			○		
6	発達のすばらしさ	人生の初期段階における親や家族などの関わりの大切さを学ぶ。		○		○		
7	子どもの生活 絵本や手作りおもちゃの製作 すこやかに育つ環境	子どもとの触れあいを通して、愛着の形成と親としての成長を理解する。 児童福祉の理念を理解し、世界の子育て支援の現状を学ぶ。			○	○		
8	(夏休み) ホームプロジェクト ・生活をあらためて見直し、解決することを検討する。 ・具体的な解決方法を探り、実際に改善する。 ・友達や家族と協働して課題を解決する意義を知る。	・生活の中で、よりよく暮らすための解決方法を考える。 ・ひとりで取り組むだけでなく、協働することの意義を知る。	○	○	○	○		

9	快適な住まい	住環境と持続可能な社会とは何かを考える。 家族の生活行為と住空間との関わりを理解し家 族構成やライフステージなどに応じた住まいを デザインできる。	○			○
10	これからの住生活と環境			○	○	
11	快適な住まいと環境 インテリアデザイン製作					
12	高齢社会に生きる 高齢者を知る 高齢化の課題と高齢者福祉	高齢社会の現状と課題を理解する。 高齢期の心身の変化や特徴、個人差が大きいこ とを知る。 高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支 える制度と課題を考える。	○	○		○ ○
1	社会とかかわる	社会保障制度のしくみを踏まえて将来に向けて の課題を考える。	○			○